

# ABIST REPORT 2023

中間報告書 2022年10月1日▶2023年3月31日

**ABIST**

証券コード：6087

# 株主の皆さまへ

平素より当社への格別のご支援ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

創業 25 年、会社設立 18 年を迎えることが出来たのは、ひとえにお客さまをはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまのご支援のおかげであり、感謝に堪えないところでございます。

新型コロナウイルス感染症やロシア・ウクライナ情勢は、社会、働き方、お客さまの価値観などが大きく変化するきっかけとなりました。当社が主力事業とする設計開発アウトソーシング事業において、大きなシェアを占めている自動車産業では「カーボンニュートラル」の実現、「CASE」への対応など 100 年に 1 度の変革期を迎えております。

## 『デジタルソリューション企業』への変革

事業環境が大きく変化する中で、私たちアビストはデジタル技術を活用し、顧客の潜在ニーズに応えるソリューション提案型企業『デジタルソリューション企業』を目指してまいります。

今後、益々社会の情報化は進み、デジタル技術の活用機会は広がることが予想されます。『設計を基軸にしたデジタルソリューション』に焦点を絞り、ものづくりの中でも、当社の最も得意とする設計開発分野での新たなソリューション提案を行います。

あらゆるシーンで顧客のニーズに応えることで、『デジタルでものづくりに貢献する企業』を目指します。

## DX 推進による新たな価値創造に着手

また、当社は「DX 推進」を今後の成長に欠かせない要素であると認識しており、当社独自技術の開発を進め、当社社員のみならずお客さまにおいても、技術者がより創造性にあふれた生産性の高い業務に従事できるような社会の実現を目指します。



### 【中期経営計画の説明動画】

代表取締役社長 進 顕による中期経営計画の説明動画は左記 QR コードよりご覧ください。

## アビストの 6 つのマテリアリティ

当社は、6 つのマテリアリティを（重要課題）を設定致しました。

- ①エンジニアがいきいきと働ける場を提供
- ②データの力で快適な社会を提供
- ③質の高い教育を提供
- ④技術者集団アビストだからできる技術で環境に貢献
- ⑤カーボンニュートラルに貢献
- ⑥全ての人が活躍できる場を提供

これら 6 つの重要課題を、事業活動を通じて解決することで、持続的な成長を図ります。

## 『人材育成』の推進

アビストは持続的な成長のための最重要施策として「人材育成」を推進します。技術者が高いスキルを会得することはお客さまに喜ばれるサービスを提供し、ひいては当社の持続的な成長に繋がるものとして戦略的に取り組んでいきます。

創業の精神「設計技術者が自らのために、ともに働き合う設計技術者集団の確立」にあるように、技術者が夢や希望を持ち、いきいきと働ける環境を提供することでサステイナブルな社会の実現に貢献します。

第 18 期から私が代表取締役社長に就任し、全社一丸となってアビストの変革を実行していきます。

今後も株主の皆さまのご期待に応えられるよう事業の拡大充実に努めてまいります。引き続き、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

進 顕



## 目指すべき企業像

**デジタルソリューション企業** デジタル技術を活用し、顧客の潜在ニーズに応えるソリューション提案型企业

## 長期ビジョン

**デジタルでものづくりに貢献する企業** あらゆる生産活動のシーンでデジタルソリューションを提供できる企業を目指す

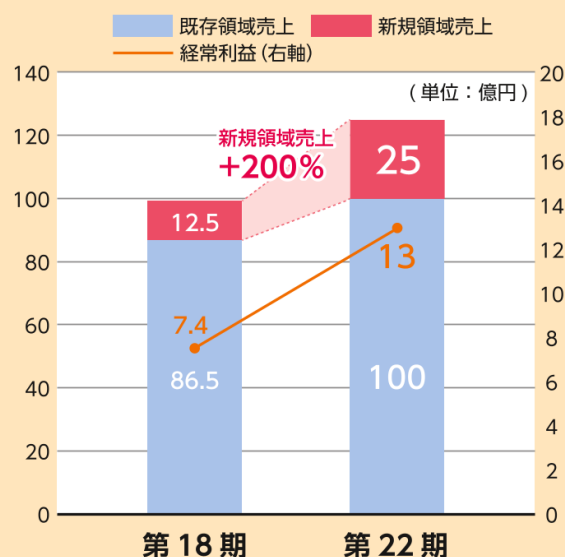
## 中期ビジョン

**設計を基軸にしたデジタルソリューションを提供** 当社が強みのある設計開発分野を中心にソリューション提案を実施

## 中期経営計画における新たな戦略的取り組み

①既存領域の更なる発展や付加価値創造のデジタルソリューション	
ハイエンド 3DCAD を活用した軽量化技術への応用	既存領域
環境配慮設計	既存領域
ソフトウェア分野の展開 (組込 / 制御システム開発等への新展開)	新領域
②デジタル解析ソリューション	
・解析ソリューションの深化 ・試作レスに資するソリューションの提供	新領域
③顧客向け DX ソリューション	
・設計に関連する新しいアイテムの継続的な開発	新領域
④オフショア開発を含めたグローバル展開	
	数値計画外 (進捗状況により今後追加予定)

## 売上構成・経常利益数値計画



## イノベーションセンターによる基礎研究

### ◆一般機器 (iPad 等) を用いた高精度な 3D スキャン技術

⇒北海道大学とアビストとの共同研究により、iPad などの LiDAR 機能を活用し手軽で且つ、高精度な 3D スキャン技術を開発  
⇒画像の色情報、位置情報等を活用した独自の誤差補正技術を開発

### ◆DiffAR：実物と仮想モデルとの形状差分を表示する技術

⇒上記技術を活用し実物と仮想モデルとの形状差異を計測し実物に重ね合わせて表示

## 【AR (Augmented Reality : 拡張現実)】

- ・現実世界に新たな画像やテキスト情報などのデジタルコンテンツを重ね合わせて表示する技術
- ・実現が難しい事柄を手軽に現実世界に反映できる技術

## 【足形での測定実施事例】

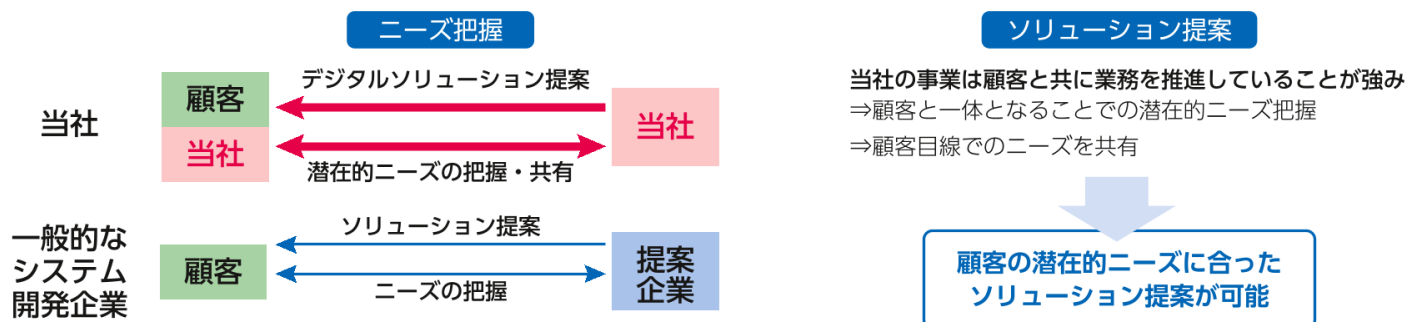
※オーダーメイド靴の作成時に活用



〈従来の3Dスキャン結果〉 誤差：10～20mm  
 〈弊社3Dスキャン結果〉 誤差：1～3mm



## 当社ソリューション提案の強み



当社の事業は顧客と共に業務を推進していることが強み  
 ⇒顧客と一体となることでの潜在的ニーズ把握  
 ⇒顧客目線でのニーズを共有

顧客の潜在的ニーズに合った  
 ソリューション提案が可能

## DiffAR の活用事例

The image shows a person using a tablet to view a car model overlaid on a real car. The real car is labeled '実物' (Real Object) and the CAD data is labeled 'CADデータ' (CAD Data). The person is labeled 'ユーザー' (User). The process is described in four steps:

- ① 対応端末にて目印を認識（AR マーカーや実物の輪郭、形状など）
- ② 目印に合わせて実物に CAD データが自動的に重なる
- ③ CAD データの位置を必要に応じてユーザーが微調整
- ④ カメラ、LiDAR を活用し実物を測定し CAD データの差分を色分け表示

Additional labels include '位置調整レバー' (Position Adjustment Lever) and 'タブレットで閲覧' (View on Tablet).

**➡データと実物との差分を表示し作業支援・自動チェック**

## アンケートのお願い

株主の皆様からのご意見を頂戴し、企業価値の向上に努めるべく、アンケートを実施いたします。  
 アンケート結果は株主の皆様のご意見を分析検討する目的以外の利用は行わず、厳重に管理いたします。

### アンケート回答方法

- アンケートご回答の締め切りは、2023年7月31日（月）です。
- 株主様お一人につき、1度のご回答とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

下記 URL にアクセスいただき、アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

二次元バーコードから  
 アクセスする場合

右の二次元バーコードを読み取って、  
 アクセスしてください。



ご回答いただいた方  
 の中から抽選で謝礼  
 (優待品 水素水 1  
 ケース) を進呈させ  
 ていただきます。

インターネットから  
 アクセスする場合

「アドレスバー」に以下アドレスを入力してください。  
<https://www.abist.co.jp/index.html>

その他当社に関する  
 情報はこちら。  
 是非一度ご覧ください。

【talentbook】  
 働く社員に  
 フォーカスした  
 記事を掲載。



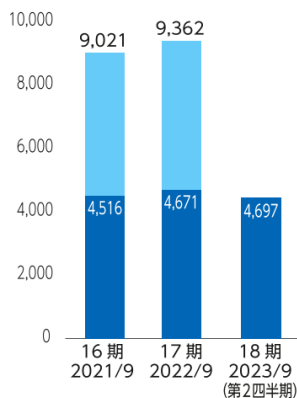
## 1. 経営成績（累計）

	当第 2 四半期累計期間	通期見通し（※）
売上高	4,697 百万円（前期比 0.5% ↑）	9,900 百万円（前期比 5.7% ↑）
営業利益	397 百万円（前期比 6.7% ↑）	740 百万円（前期比 0.3% ↑）
経常利益	406 百万円（前期比 -8.5% ↓）	740 百万円（前期比 -11.6% ↓）
四半期純利益	476 百万円（前期比 196.4% ↑）	610 百万円（前期比 67.6% ↑）

（※）令和 5 年 2 月 1 日付で連結子会社であった株式会社アビスト H&F を吸収合併したことにより、第 18 期第 2 四半期より個別決算へ移行しております。

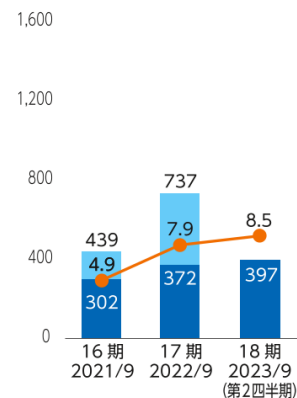
## 売上高

■ 通期（百万円）  
■ 第 2 四半期（百万円）



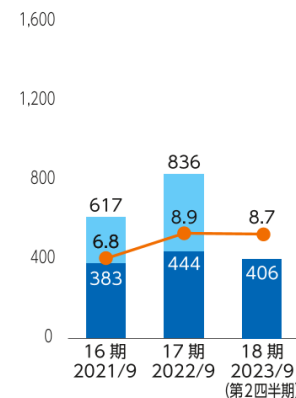
## 営業利益

■ 通期（百万円）  
■ 第 2 四半期（百万円）  
● 利益率（%）



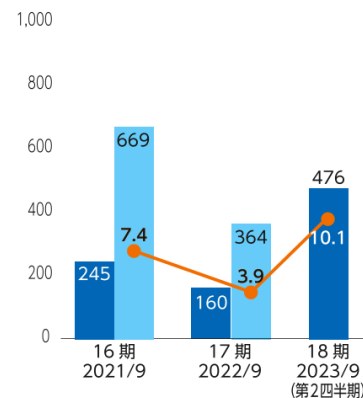
## 経常利益

■ 通期（百万円）  
■ 第 2 四半期（百万円）  
● 利益率（%）



## 四半期純利益

■ 通期（百万円）  
■ 第 2 四半期（百万円）  
● 利益率（%）



## 2. 配当の状況

令和 4 年 9 月期	令和 5 年 9 月期（予測）
102 円	102 円

## 株主還元方針

配当性向  
**35%**  
以上

株主  
& 優待制度

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。

配当性向 35% 以上を基本的な配当政策とし、株主様との中長期的な信頼関係を構築する為、株主資本配当率も考慮し、配当金額を決定していく方針です。今期も継続して株主優待制度を実施し、株主還元の充実に努めております。

## 会社概要

社名	株式会社アビスト (英文表示: ABIST Co.,Ltd.)
本社設立	東京都三鷹市下連雀三丁目 36 番 1 号 (令和 5 年 5 月 31 日現在) 平成 18 年 3 月 17 日
事業開始日	平成 10 年 2 月 1 日
代表取締役社長	進 顕
資本金	10 億 2,665 万円
社員数	1,257 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在)
事業内容	・工業設計技術サービス事業【請負、技術者派遣】 (機械設計開発、システム・ソフトウェア開発、電気・電子設計開発、3Dプリント造形サービス) ・3D-CAD教育事業 (取引先のエンジニア教育、工業系大学の 3D-CAD教育受託 他) ・不動産賃貸事業 ・美容・健康商品製造販売事業

## 役員

代表取締役会長	進 勝 博	執行役員	靄 純 一
代表取締役社長	進 顕	執行役員	長 澤 智 史
常務取締役	柴 山 憲 司	執行役員	金 井 孝 宣
常務取締役	丸 山 範 和	執行役員	藤 田 知 哲
取締役 (監査等委員)	久留島 秀 彦	執行役員	鈴 木 和 幸
取締役 (監査等委員)	山 本 守	執行役員	湯 田 光 紀
取締役 (監査等委員)	江 幡 奈 歩	執行役員	山 田 逸 平
取締役	高 尾 真 紀 子	執行役員	山 浦 雅 生
取締役	三 澤 貞 一	執行役員	岡 嘉 之
取締役 (監査等委員)	中 山 徹	執行役員	柳 堀 剛

## 株式の状況 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

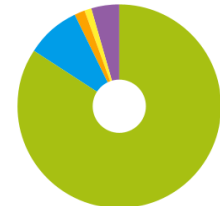
発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式総数	3,980,000 株
株主総数	21,647 名

## 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
進 勝博	650,000	16.33
ABIST 社員持株会	253,100	6.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	208,600	5.24
大宅 清文	100,000	2.51
日本生命保険相互会社	100,000	2.51
小林 秀樹	75,000	1.88
進 顕	75,000	1.88
進 里江	75,000	1.88
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	72,806	1.82
大宅 ヤイ子	60,000	1.50

## 所有者別株式分布状況

個人・その他	84.2%
金融機関	8.8%
金融商品取引業者	1.5%
その他の法人	1.1%
外国法人等	4.4%
自己名義株式	0.0%



## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (令和4年4月移行)
単 元 株 式 数	100 株

**広告の方法** 電子公告により行う  
**公告掲載 URL** <https://www.abist.co.jp>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じた時は、官報に掲載いたします。)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求そのほか各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。